

CASBEE[®]広島

(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ポレスター大町東	階数	地上10F
建設地	広島市安佐南区大町東3丁目820-821-1-822-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	224 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2010年7月10日
敷地面積	1,499 m ²	作成者	山口尚興
建築面積	392 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	2,983 m ²	確認者	和久井亨



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.5	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。// 空気熱源ヒートポンプ給湯器の採用 // 節水型便器や節湯水栓の採用。造作材に集成材を使用。/	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 コンクリートの水セメント比を50%に抑え、品確法の劣化対策等級3の性能を確保。// 節水型機器の使用、事故に備えた給排水配管の系統分けを実施。豪雨や高潮による浸水の被害に備えて、地下施設を避け、電気設備の設置場所をマウンドアップ。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される